

富山日豪協会設立趣意書

世界各国との共存の中に生きているわが国にとっては、各国の文化、国民性を理解するとともに、日本を諸外国に正しく理解させるための交流と対話が、最も大切なことであります。

日本とオーストラリアは、環太平洋諸国の最先進国であり、互恵共存の靱帯をより強固にすべきパートナーとして、最もふさわしい存在であります。

富山県においては、多年にわたり交換学生の交流、特に一昨年富山県青年の船のオーストラリアへの派遣などを通じて、友好の輪が急速に拡がり、同国に対する親近感はますます深まっています。

オーストラリアとの相互理解と親善促進を目的とする日豪協会は、東京・大阪・名古屋・岐阜などにおいて、すでに設立され、活発な活動を行っております。

富山県においても、かねてから富山日豪協会の設立が待望されておりましたところ、この程、有志相はかつて設立準備に着手いたしました。

何卒、皆様方には以上の設立趣意にご賛同を賜り、ぜひとも設立会員としてご入会戴きたく、お願い申しあげる次第であります。

昭和57年7月

設立発起人（代表者）	原谷 敬吾（富山経済同友会代表幹事）
同 上	馬瀬 清亮（富山県商工会議所連合会会長）
同 上	高瀬 重雄（国際ロータリークラブ 第261地区パストガバナー）
同 上	村本 岸（ライオンズクラブ 334D地区名誉顧問）
同 上	多田 慎一（日本青年会議所 富山ブロック協議会会長）
同 上	津島 朔朗（第10回富山県青年の船団長）

以上